



■表紙の写真

6月29日(日)、藤樹先生生誕400年祭の協賛事業として、高島市文武両輪剣道錬成大会が、安曇川総合体育館で開催されました。県内をはじめ、若狭地方や遠くは鹿児島県志布志市などから25チームが参加し、日ごろの修練の成果を競いました。予選リーグで、1本勝負と基本判定試合の総合判定で勝敗を決めるといふ、剣道の基礎的技術を重視しているのが特徴的な今大会。少年少女剣士の真剣勝負に、チームメイトや家族などからはさかんに声援が送られていました。

- 2-4 タウンピックアップ
- 5-8 お知らせ拡大版
- 9 いきいき元気生活
- 10・11 みんなで子育て、親育ち！  
地域で子育て、親育て！
- 12 防災・消防情報
- 13 警察・交通事故発生状況・消費生活相談
- 14-16 情報お知らせ版
- 16 藤樹先生生誕400年祭関連事業
- 17 文化情報
- 18 輝け！おらが学校、藤樹先生の逸話

広報たかしま

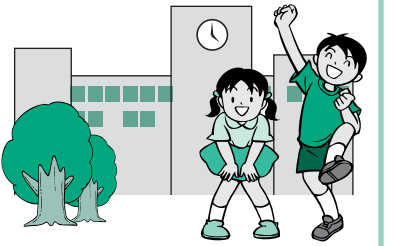
第71号

発行／高島市 編集／企画部秘書広報課

〒590-0001 滋賀県高島市新旭町北畑505番地

http://www.city.takashima.shiga.jp  
E-mail: info@city.takashima.shiga.jp

輝け！  
おらが学校



▶ 本庄小学校

息づく校訓

本校は安曇川の河口部に位置し、校舎の2階からは雄大なびわ湖を望むことができます。豊かな自然環境の中で、受け継がれてきた校訓「たくましい子 本庄の心」をもとに、さまざまな教育活動を進めています。



本庄うみの子事業

「マイスクール」学校の顔「事業」

本校の立地条件を生かした特色ある教育活動として、「本庄 うみの子事業」を実施しています。これはびわ湖を中心とした活動で、保護者や地域にも根付いています。

1～3年生はびわ湖に親しむ「びわ湖活動」、4～6年生は「びわ湖水泳」を行います。特に「びわ湖水泳」は、びわ湖への愛着とともに、体力づくりやねばり強さを培う場として、また、やり遂げた達成感の共有など、保護者からもその効果が期待されています。



「びわ湖活動（1～3年）」

びわ湖やびわ湖岸で遊ぶ「びわ湖活動」を通して、自然の素晴らしさに気づき、縦割り活動することで、協調性を培うことをねらいとしています。

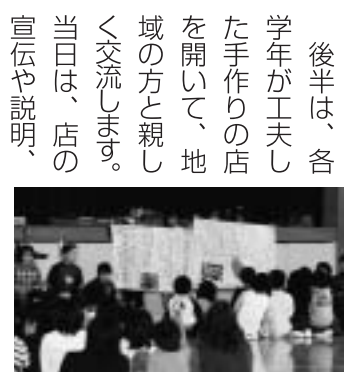
「びわ湖水泳（4～6年）」



4年生以上の生徒が全員参加する「びわ湖水泳」は、100mから1,000mまでの4つのコースの中から、自分で決めた目標に向かって練習し、湖岸沿いに並べられたブイに沿って泳ぎます。先導・側泳の指導者の励ましや低学年やPTAの応援を受けながら、毎年全員の完泳を目指しています。

「本庄っ子祭（全校）」

総合的な学習の時間や生活科で学習した内容を発表する場が「本庄っ子祭」です。前半は、学年ごとに学習の成果を発表します。低学年は、画用紙や模造紙を使って生活科で体験したことを発表し、中学年は、野菜づくりやびわ湖の漁業について模型などを使って、高学年になるとパソコンを使って、びわ湖の環境保全について報告しました。



後半は、各学年が工夫した手作りの店を開いて、地域の方と親しく交流します。当日は、店の宣伝や説明、お客さんの呼び込みを友達と協力して行い、人との接し方や話し方を学ぶよい機会になっています。

藤樹先生の逸話④ 「ほこりの積もった忘れ物」

藤樹先生が住む村の人々は、みな先生の教えが浸透しており、人としての道を常に守っていました。

西近江路の道沿いにある、<sup>ほたこ</sup>旅籠や茶店では、旅人の置き忘れていった品物があれば、忘れた人が再び取りに戻るまで、必ず店の棚に置いておきました。

いつまでもそのまま置いていたので、忘れ物の上には「ほこり」が積もっていました。キセルや煙草入れなどの高価な忘れ物であっても、自分のものにすることはありませんでした。

【解説】

河原市宿（現在の旭町）の馬方又左衛門がお客の忘れた二百両の財布を届けてあげた美談といい、この逸話といい、藤樹先生の教えがいかに近郷の人々に浸透していたかがうかがえます。

後半は、各学年が工夫した手作りの店を開いて、地域の方と親しく交流します。当日は、店の宣伝や説明、お客さんの呼び込みを友達と協力して行い、人との接し方や話し方を学ぶよい機会になっています。



本庄小学校のデータ

学級数・児童数：8学級・125人  
所在地：安曇川町南船木391 ☎(34)0006

